

## 市内認可保育園、小・中学校給食食材の放射性物質検査

☆4月より新基準に対応可能なNaI(Tl)シンチレーション検出器によるスクリーニング検査を開始しました。

なお、納入業者の協力により、2日後に使用する食材を事前に検査しています。

(明治薬科大学に全面的にご協力いただき、この検査を実施しております)

### 【検査結果】

今回検査した食材全て放射性物質(放射性セシウム)は検出されませんでした。

詳細は以下のとおりです。

食材	産地	放射性セシウム	
		セシウム-134	セシウム-137
豚肉	埼玉	検出せず (<10)	検出せず (<9)
鶏肉	静岡	検出せず (<10)	検出せず (<9)
生わかめ	岩手	検出せず (<10)	検出せず (<9)
ブロッコリー	福岡	検出せず (<11)	検出せず (<10)
カリフラワー	福岡	検出せず (<11)	検出せず (<10)
しめじ	長野	検出せず (<12)	検出せず (<10)
玉葱	北海道	検出せず (<10)	検出せず (<9)
ピーマン	宮崎	検出せず (<11)	検出せず (<12)

(単位:ベクレル/キログラム)

### 〈検査結果の見方〉

「検出せず」とは検出限界値未満のことです。

( )内の数字が検出限界値(検出できる最小の値)で、個々の検体によって変わります。

- 検査年月日 平成26年2月4日(火)
- 検査機関 明治薬科大学
- 検査機器 日立アロカメディカル(株)製食品放射能測定システム(型名:CAN-OSP-NAI)
- 参考  
暫定規制値

### 新基準値

(平成24年4月1日から施行)

放射性セシウム	野菜類	500	→	一般食品	100
	穀類			乳幼児用食品	50
	肉・卵・魚・その他	200		牛乳	50
	牛乳・乳製品	200		飲料水	10
	飲料水	200			

(単位:ベクレル/キログラム)

(単位:ベクレル/キログラム)